

平成 25 年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

共通選抜 全日制の課程

V 社 会

注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は **問6** まであり、1ページから14ページに印刷されています。
- 3 答えは、解答用紙の決められた欄に、はっきり書き入れなさい。<sup>らん</sup>
- 4 解答用紙にマス目（例：

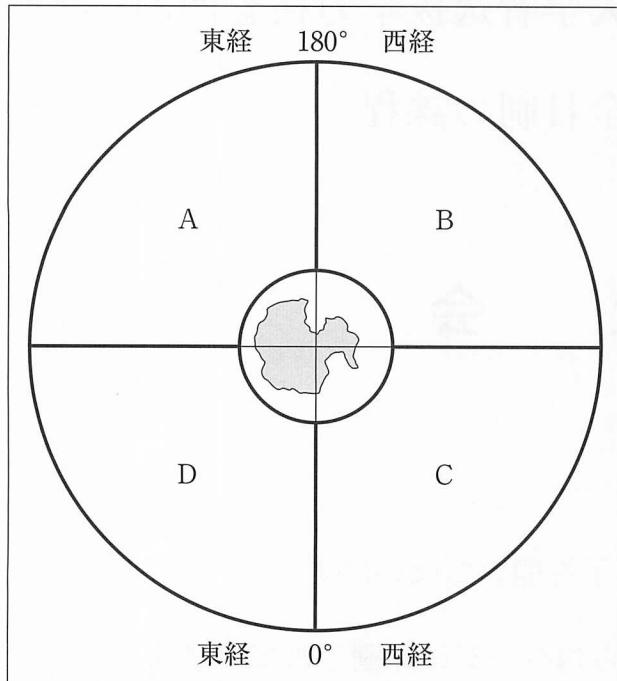
--	--	--

）がある場合は、句読点もそれぞれ1字と数え、必ず1マスに1字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点と一緒に置かず、句読点は次の行の最初のマス目に書き入れなさい。
- 5 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

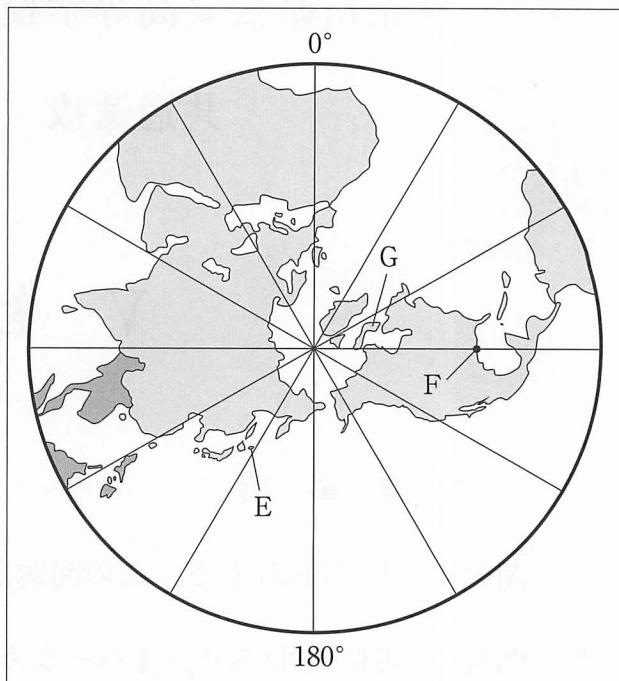
受 檢 番 号	番
---------	---

問1 次の南極点を中心とした南半球の略地図I，北極点を中心とした北半球の略地図IIについて，あとの各問いに答えなさい。なお，略地図IIの北極点から引いてある線は経線であり，本初子午線から30度ごとに引いてある。

略地図I

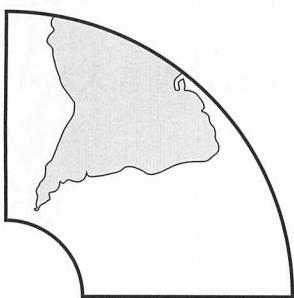


略地図II

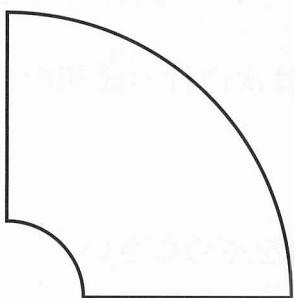


(ア) 略地図Iの(A)～(D)の部分にあてはまるものとして最も適するものを，次の1～4の中からそれぞれ一つずつ選び，(A)～(D)の順にその番号を書きなさい。なお，1～4は(A)～(D)のいずれか一つに必ずあてはまるものとする。

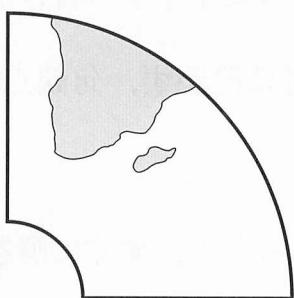
1



2



3



4



(イ) 略地図IIのEの地点にある北方領土に関する次の〔 〕中の文の〔X〕，〔Y〕にあてはまるものの組み合わせとして正しいものを，あとの1～4の中から一つ選び，その番号を書きなさい。

〔 〕  
北方領土のうち，2番目に面積の大きい〔X〕は，江戸時代に〔Y〕が中心となって作成した日本地図である「大日本沿海輿地全図」にも，測量による正確な形が記載されています。

1. X：色丹島 Y：もとおりのりなが  
2. X：色丹島 Y：いのうただなか  
3. X：国後島 Y：本居宣長  
4. X：国後島 Y：伊能忠敬

(ウ) 略地図IIの都市Fに関して，横浜市が2月15日午前11時のときの都市Fの日時を，午前もしくは午後の区別をつけて書きなさい。なお，都市Fの標準時の基準となる経度は，都市Fが位置する経度と同じものとする。

(エ) 略地図ⅡのGの地点の気候などを説明した文として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. 雨が非常に少なく乾燥していて、砂漠や丈の短い草の草原が広がっている。
2. 一年を通して寒さがきびしく、短い夏にコケ類がわずかに育つ場所がある。
3. 一年を通して高温多雨で、熱帯雨林が広がっている。
4. 四季の変化がはっきりしていて、多様な樹木が見られる。

(オ) 次の表Ⅰ、資料、表Ⅱは、略地図Ⅱに [ ] で示した地域の国などが経済成長、社会・文化的な発展の促進などを目的として構成しているASEAN（東南アジア諸国連合）に関するものである。表ⅠからはASEAN（東南アジア諸国連合）の先発加盟国と後発加盟国との間にある経済面での課題を、資料からはその課題に対する日本政府の考え方を、表Ⅱからはその課題に対する日本政府の対応をそれぞれ読み取り、それらを関連付けて、70字以上80字以内で書きなさい。なお、文末は「[ ]」で終わること。これらも全体の字数に入れること。

表Ⅰ ASEAN（東南アジア諸国連合）加盟国の人団総数と  
一人あたりの国内総生産

	国名	人口総数	一人あたりの 国内総生産 (2009年)
先発加盟国 原加盟国と 1984年以前 に加盟した 国	インドネシア	23,741万人	2,349ドル
	シンガポール	495万人	37,394ドル
	タイ	6,871万人	3,894ドル
	フィリピン	9,170万人	1,747ドル
	マレーシア	2,795万人	6,967ドル
	ブルネイ	39万人	26,385ドル
後発加盟国 1995年以降 に加盟した 国	カンボジア	1,398万人	729ドル
	ベトナム	8,690万人	1,058ドル
	ミャンマー	4,760万人	380ドル
	ラオス	611万人	884ドル

(『世界国勢団会2011/12』により作成)

資料 日本国政府のASEAN（東南アジア諸国連合）に対する政府開発援助（ODA）の考え方

ASEANは2015年の統合に向け地域の「連結制」の向上を重視しており、我が国も地域の総合的な開発という観点を重視して支援を行っている。

(「政府開発援助（ODA）国別データブック2010」より)

表Ⅱ 日本国のASEAN（東南アジア諸国連合）

加盟国に対する政府開発援助（ODA）によ  
る贈与の実績と、後発加盟国の占める割合

年度	実績	割合
2009年度	630億円	57.5%

(「政府開発援助（ODA）国別データブック2010」により作成)

問2 日本のさまざまな地域の自然環境や産業などについて調べる学習のなかで、Kさんは富山県について、Lさんは千葉県について、それぞれ調べてメモなどを作成した。これらについて、あとの各問い合わせに答えなさい。

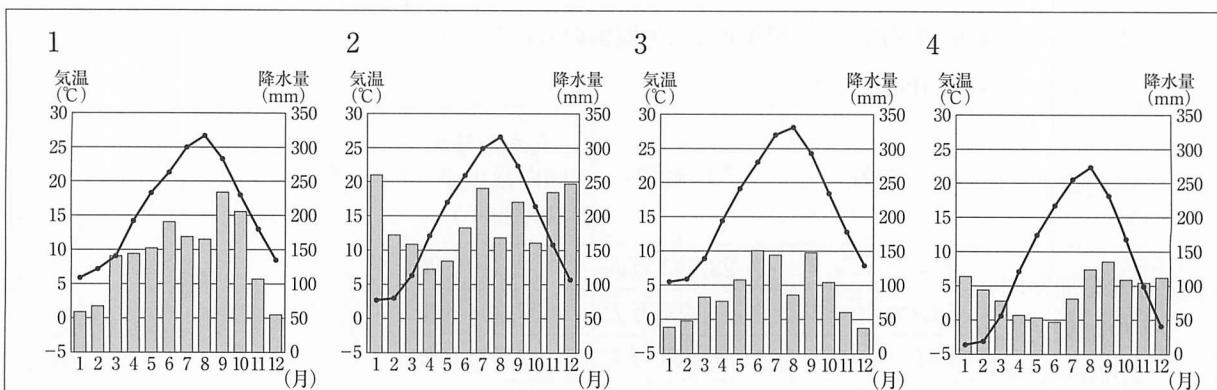
### Kさんのメモ

富山県は、本州の中央北部に位置し、三方を山岳地帯に囲まれ、富山湾を抱くように平野が広がっています。この平野のほぼ中央に県庁所在地の①富山市があります。

②日本海側に位置する富山県は、環日本海地域の拠点をめざし、③貿易の振興などの活発な取り組みを行っています。

- (ア) ——線①に関して、次のグラフは札幌市、富山市、横浜市、高松市の月ごとの平均気温と降水量をあらわしたものである。このうち富山市のものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

### グラフ



(『理科年表平成24年』により作成)

- (イ) ——線②に関して、日本海を流れる暖流、寒流の組み合わせとして正しいものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- |                |          |             |             |
|----------------|----------|-------------|-------------|
| 1. 暖流：親潮（千島海流） | 寒流：リマン海流 | 2. 暖流：リマン海流 | 寒流：親潮（千島海流） |
| 3. 暖流：対馬海流     | 寒流：リマン海流 | 4. 暖流：リマン海流 | 寒流：対馬海流     |

- (ウ) ——線③に関して、Kさんは、日本海に面する五つの県の海上輸送による貿易貨物の輸出量をあらわした右の表Iを作成した。この表Iから、五つの県の2005年から2008年にかけての海上輸送による貿易貨物の輸出量の増減率を、右の表記の方法にしたがい、解答用紙の白地図に書き入れなさい。（白地図の——線の範囲内に書き入れること。）

表I 海上輸送による貿易貨物の輸出量  
(単位は千トン)

県名	2005年	2008年
秋田	446	294
石川	365	465
富山	1,476	2,423
新潟	2,010	2,190
山形	99	128

### 表記の方法

	150%以上
	125%以上 150%未満
	100%以上 125%未満
	100%未満

(『データでみる県勢2008』『データでみる県勢2011』により作成)

## Lさんのメモ

東京湾をはさんで神奈川県の対岸にある千葉県は、約530kmに及ぶ海岸線をもち、関東地方の中で④漁業の盛んな県です。海岸線のうち、東京湾に面する浦安市から富津市までの海岸の多くは埋め立てられています。1960年代以降、千葉県ではこのような埋立地や丘陵に多くの⑤住宅地の造成事業が着手され、たくさんの新しい市街地がつくられました。

## 略地図



(エ) ——線④に関して、Lさんは神奈川県と千葉県の漁業を比較するために、次の表Ⅱ、表Ⅲを作成した。表Ⅱ、表Ⅲから読み取れることとして最も適するものを、あの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

**表Ⅱ 魚種別漁獲量の推移 (単位はトン)**

神奈川県

	まぐろ類	かつお類	いわし類	あじ類	さば類	さんま	ぶり類	その他	合計
1985年	25,277	8,205	16,892	160	5,370	831	151	34,283	91,169
1995年	13,803	5,741	12,562	2,044	4,311	908	370	26,037	65,776
2005年	14,473	22,026	7,904	2,046	9,526	1,507	397	18,535	76,414

千葉県

	まぐろ類	かつお類	いわし類	あじ類	さば類	さんま	ぶり類	その他	合計
1985年	730	2,019	309,730	724	32,366	25,274	1,232	69,335	441,410
1995年	874	4,415	85,995	8,667	10,214	19,447	4,365	33,469	167,446
2005年	807	2,561	110,114	6,268	36,671	11,672	3,415	24,525	196,033

(農林水産省「海面漁業生産統計調査」により作成)

**表Ⅲ 魚種別生産額 (2005年) (単位は百万円)**

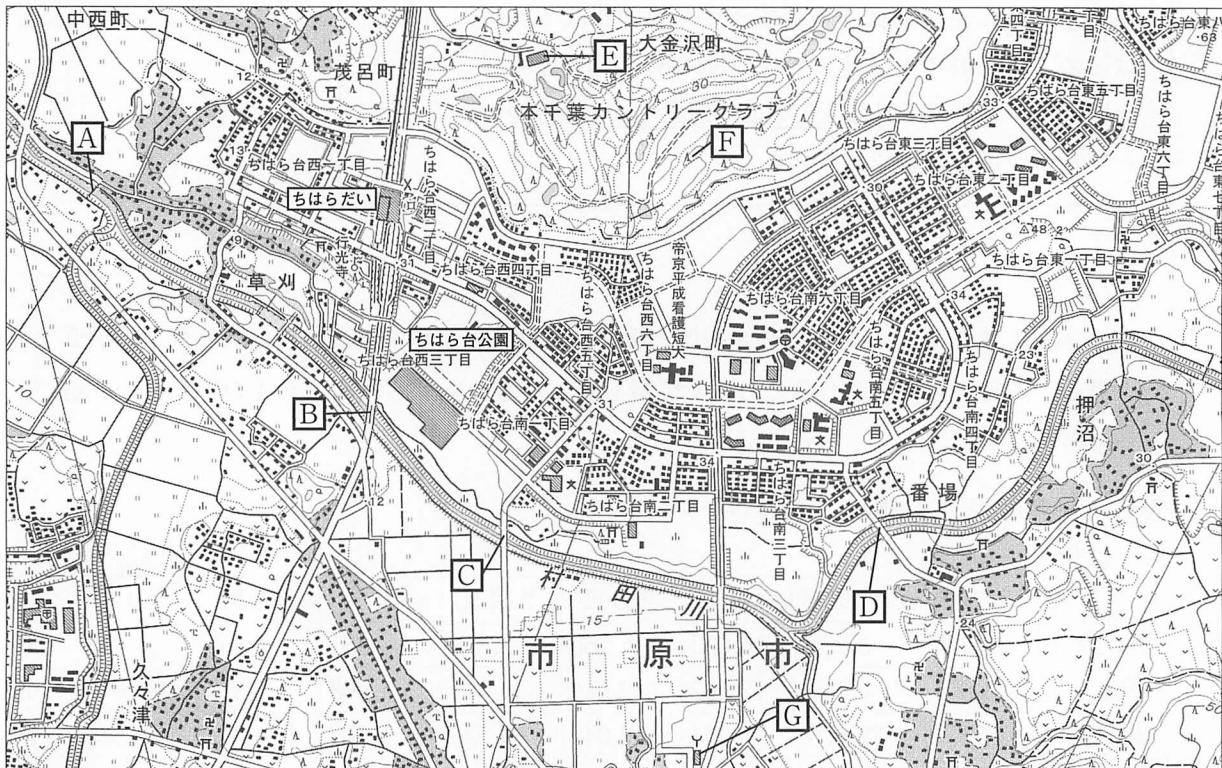
	まぐろ類	かつお類	いわし類	あじ類	さば類	さんま	ぶり類	その他	合計
神奈川県	7,240	2,138	1,509	469	628	93	188	5,963	18,228
千葉県	376	706	4,438	2,062	1,811	705	1,675	13,573	25,346

(農林水産省「平成17年漁業生産額」により作成)

1. 1985年、1995年、2005年において、その他を除いた魚種別漁獲量は、神奈川県ではまぐろ類の漁獲量、千葉県ではいわし類の漁獲量がそれぞれ最も多い。
2. 2005年において、両県ともその他を除いた最も漁獲量の多い魚種の生産額が、それぞれ最も高い。
3. 1985年と2005年を比較すると、両県とも魚種別漁獲量の合計は、増加している。
4. 2005年の両県における魚種別生産額の合計を比較すると、1トンあたりの生産額は、神奈川県の方が高い。

(オ) ——線⑤に関して、Lさんは、1977年に造成事業が開始された「ちはら台」に行き、次の地形図をもとに周辺を見て回った。この地形図に関して、あとの各問い合わせに答えなさい。

### 地形図



(国土地理院発行2万5千分の1の地形図「蘇我」(平成21年発行)の一部改変)

(i) 右の写真は、Lさんが「ちはら台」の周辺を見て回った際に、「ちはら台」の南を流れる村田川を、川に架かる橋の上から上流の方向を向いて撮影したのである。地形図中の[A]～[D]のうち、写真を撮影した場所として最も適する地点を、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. [A]
2. [B]
3. [C]
4. [D]

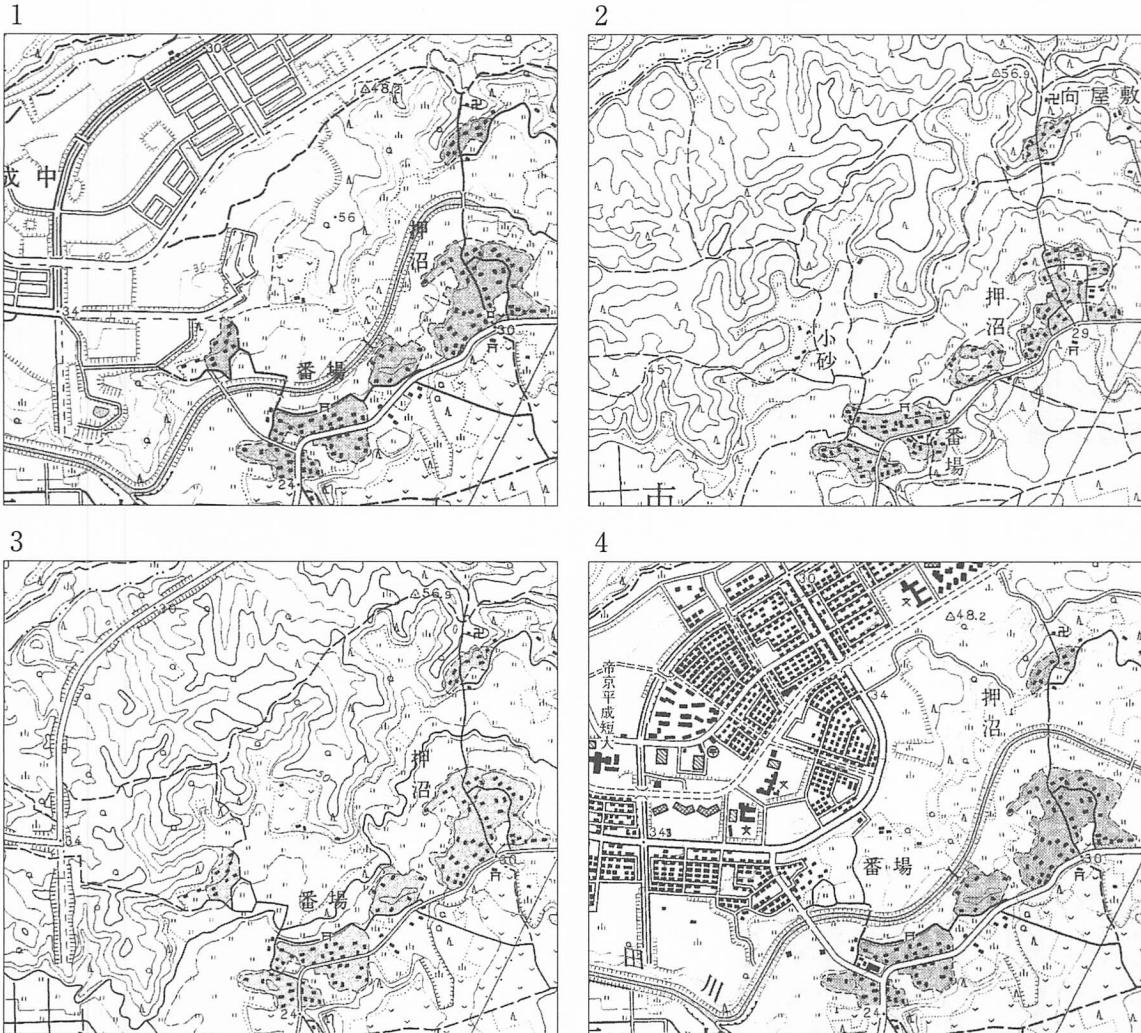
### 写真



(ii) 地形図から読み取れる説明として適するものを、次の1～5の中から二つ選び、その番号を書きなさい。

1. 地形図中に[E]で示した建物と「ちはらだい」駅は、別の市に所在している。
2. 地形図中の[F]の地点には、広葉樹林がある。
3. 地形図中には、短期大学（短大）が1校、高等学校が2校、小学校と中学校があわせて2校ある。
4. 地形図中で「ちはら台公園」が1cm四方であるとすると、実際の面積は62,500 m<sup>2</sup>である。
5. 地形図中の[G]の地点には警察署があり、[G]の地点と村田川の間には田や果樹園がある。

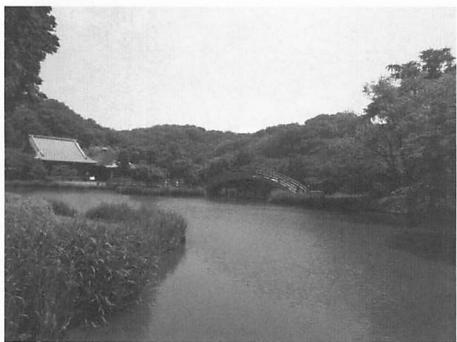
(iii) Lさんは、この地域の地形や土地利用の変化を調べるために、発行年の異なる4枚の地形図を用意した。次の地形図1～4について、発行年の古いものから順にその番号を書きなさい。



(国土地理院発行2万5千分の1の地形図「蘇我」(昭和45年, 昭和54年, 昭和63年, 平成10年発行))

問3 Kさんたちは、休日などをを利用して神奈川県および近隣の都県の博物館や史跡などを訪問し、カードに調べたことを簡単にまとめた。Kさんたちが作成した次の5枚のカードについて、あとの各問い合わせに答えなさい。

Kさんのカード



わたしは、横浜市の称<sup>しょうみょうじ</sup>名寺と隣接する県立金沢文庫に行きました。

ここには、①執権の北条氏の一族である金沢北条氏にかかわる資料が展示されていました。

Lさんのカード



わたしは、埼玉県の県立さきたま史跡の博物館に行きました。ここには、「大王」の文字が刻まれた国宝の鉄剣が展示されていました。

鉄剣は、写真左奥のさくで囲まれた地点から見つかりました。

Mさんのカード

わたしは、茨城県の県立歴史館に行きました。展示室の入口には、②現在の茨城県に伝わった話が紹介されました。

三つ目の展示室では、藩のはじまりから、③村の様子、諸産業の発達や商品の流通、百姓一揆、藩政改革までの展示がされていました。

(ア) Kさんのカードの一線①に関して、北条氏が執権として政治の実権を握っていた期間のことがらを、次の1~5の中から三つ選び、古いものから順にその番号を書きなさい。

1. 農民などから武器を取り上げる刀狩（刀狩り）を行った。
2. 裁判の基準などを示した御成敗式目（貞永式目）を定めた。
3. 領地を失った御家人を救うために、徳政令を出した。
4. 京都に六波羅探題を置き、朝廷の監視や西国御家の統制にあたらせた。
5. 商工業者が株仲間を結ぶことを奨励し、商工業者から営業税を取ろうとした。

(イ) Lさんのカードに関して、この鉄剣に文字が刻まれた時代のことがらとして最も適するものを、次の1~4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. 律令がつくられ、中央政府から派遣された国司に地方の政治が任されていた。
2. 奈良盆地と大阪南部を基盤とする勢力が統一した政権をつくり、各地の豪族を支配していた。
3. 統一した政権は成立しておらず、各地に小国が分立していた。
4. 下剋上の風潮の中、実力で力を伸ばした戦国大名が自分の領国を支配していた。

(ウ) Mさんのカードの一線②に関して、平城京に遷都して間もないころ、次の□中の文のような話などを国ごとにまとめることを天皇が命じた。そのことによりつくられた書物の名称を、漢字3字で書きなさい。

昔大きな人がいて、岡の上にいながら海辺の貝をとることができ、その食べた後の貝殻が積もって、今では岡にまでなってしまいました。

Nさんのカード



わたしは、東京都港区にある高輪の  
④大木戸跡おおきどに行きました。高輪の大木戸は、東海道の起点である日本橋と最初の宿場である品川宿との間にあり、江戸の市中と市外を分けていました。

Oさんのカード



わたしは、「歴史の道百選」の一つである東京都八王子市の絹の道に行きました。

A による輸送が主流になる明治時代の中ごろまで、写真の道を通って B 生糸が、人や馬によって多数運ばれたそうです。

(キ) Oさんが、カードに政治的なできごとを追加するために集めた次の1～4のできごとを、古いものから順に並べたとき、3番目になるものを選び、その番号を書きなさい。

1. 天皇が政府の新しい政治方針を神に誓う形で示した。
2. 井伊直弼いのやすしが反対派の人びとを多数処罰した。
3. 德川慶喜とくがわよしのぶが政権を朝廷に返上した。
4. 国民皆兵による近代的軍隊をつくるため徴兵令が出された。

(エ) Mさんのカードの一線③に関して、三つ目の展示室の時代の村の様子の説明として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. 石を打ち欠いた打製石器を使い始めた。
2. 粘土を焼いてつくった土器を使い始めた。
3. 土地を深く耕せる備中鉄びっちゅうてつを使い始めた。
4. 洗濯機などの家庭電化製品を使い始めた。

(オ) Nさんのカードの一線④に関して、次の□中の文は、この大木戸を通った外国人についてまとめたものである。□中のAの国とBの国の組み合わせとして正しいものを、あの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

Aの国：出島の商館長が毎年江戸に出向いて、世界のできごとを報告書にして提出しました。  
Bの国：日本の將軍の代替わりなどに、通信使を派遣しました。

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| 1. Aの国：ポルトガル | Bの国：朝鮮                 |
| 2. Aの国：オランダ  | Bの国： <small>みん</small> |
| 3. Aの国：ポルトガル | Bの国：明                  |
| 4. Aの国：オランダ  | Bの国：朝鮮                 |

(カ) Oさんのカードの□A, □Bにあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- |           |         |
|-----------|---------|
| 1. A: 鉄道  | B: 輸入した |
| 2. A: 自動車 | B: 輸入した |
| 3. A: 鉄道  | B: 輸出用の |
| 4. A: 自動車 | B: 輸出用の |

問4 Lさんは、日本の議会政治の歴史に関心をもち、衆議院を中心に調べて、できごとなどをおこった順に並べた次の表を作成した。この表について、との各問い合わせなさい。

表

帝国議会や国会の動き、重要な法案などについて	衆議院の選挙や議員の定数について
明治23年に国会を開くことを政府が約束する。	
大日本帝国憲法が発布される。	
① 第1回帝国議会が開かれる。	A 最初の衆議院議員選挙が行われる。
選挙法が改められ、男子の普通選挙が定められる。	B 男子の普通選挙がはじめて行われる。
② 第69回帝国議会が開かれる。	C
大政翼賛会が結成される。	D 戦後はじめての総選挙が行われる。 衆議院の議員定数が466名となる。
終戦の詔書がラジオで放送される。	
日本国憲法が公布される。	
サンフランシスコ平和条約が国会で承認される。	
X をめぐり、デモを行う群衆が国会議事堂を取り巻く。	④ 衆議院の議員定数が19名増員される。
沖縄返還協定が国会で承認され、翌年沖縄が本土に復帰する。	
③ 第70回国会が開かれる。	

(ア) 表中の[A]～[D]の四つの期間のうち、政党のほとんどが解散したため、その期間を通して政党の活動がほとんどみられないものとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. [A]                  2. [B]                  3. [C]                  4. [D]

(イ) X にあてはまるものとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. 治安維持法の制定                  2. 幕末に欧米諸国と結んだ条約の改正  
3. 日米安全保障条約の改定                  4. 藩閥勢力が政権を担当すること

(ウ) ——線①に関して、これ以降帝国議会では戦争などのための戦費が何度か審議された。戦費が審議された次の□中のア～ウのできごとを、古いものから順に正しく並べたものを、との1～6の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- |                             |
|-----------------------------|
| ア 韓国（朝鮮）や満州をめぐるロシアとの戦争      |
| イ 革命に干渉するためのシベリアへの出兵        |
| ウ 義和団が北京の各国公使館を包囲したことに対する出兵 |

1. ア→イ→ウ                  2. ア→ウ→イ                  3. イ→ア→ウ  
4. イ→ウ→ア                  5. ウ→ア→イ                  6. ウ→イ→ア

- (エ) ——線②に関して、次の [ ] 中の文は、ある衆議院議員の演説の一部である。議員が演説中で指摘している事件を、あとの中から一つ選び、その番号を書きなさい。

身を以て國に許す所の陛下の重臣が、國をまもるべき軍人の銃剣によって虐殺せらるるに至っては、軍を信頼する所の國民にとっては實に耐え難き苦痛であるのであります。今回反乱後の内閣組織にあたりましても、事件について重大なる所の責任を担うていられる所の軍部當局は、相當に自重せられることが國民的要望であったにもかかわらず、國民の総意が躊躇せらるるがごとき形勢が見ゆるのは遺憾千万なのであります。

(国立国会図書館帝国議会議録検索システムより)

1. 二・二六事件      2. 西南戦争      3. 五・四運動      4. 米騒動

- (オ) ——線③に関して、次の [ ] 中の文は、内閣總理大臣の所信表明演説の一部である。[ ] 中の文の [ Y ] にあてはまるものを、あとの中から一つ選び、その番号を書きなさい。

多年の懸案であった [ Y ] 両国間の国交が正常化され、善隣友好関係の基礎ができたのですが、[ Y ] 問題が解決できたのは、時代の流れの中にあって、国民世論の強力な支持があったからであります。私は、このような国際情勢の変化と過去半世紀に及んだ [ Y ] 両国の不幸な関係を熟慮した上で、国交正常化を決断したのであります。

(国立国会図書館国会議録検索システムより)

1. 日ソ      2. 日中      3. 日韓      4. 日米

- (カ) ——線④に関して、次に実施される総選挙から衆議院の議員定数が、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県で合わせて19名増員されることになった。次の表Ⅰ、表Ⅱからこの時期の社会の変化をそれぞれ読み取ったうえで、資料からはこれらの都府県で衆議院の議員定数が増員されたことになった理由を読み取り、それらを関連付けて、70字以上80字以内で書きなさい。なお、文末は [ため] で終わること。これらも全体の字数に入れること。

表Ⅰ 就業者数、産業別就業者割合の推移

年	就業者数	第1次産業	第2次産業	第3次産業
1950年	3,603万人	48.5%	21.8%	29.6%
1955年	3,959万人	41.1%	23.4%	35.5%
1960年	4,404万人	32.7%	29.1%	38.2%
1965年	4,796万人	24.7%	31.5%	43.7%

(総務省統計局のホームページにより作成)

なお、1950年と1965年の百分率で示された数値は、四捨五入をしているため、合計が100%にならない。

表Ⅱ 人口総数、三大都市圏と地方圏の

人口の割合の推移

年	人口総数	三大都市圏	地方圏
1950年	8,320万人	34.7%	65.3%
1955年	8,928万人	36.9%	63.1%
1960年	9,342万人	39.6%	60.4%
1965年	9,828万人	43.3%	56.7%

(『数字でみる 日本の100年』により作成)

資料 公職選挙法改正に関する調査特別委員会における大臣の説明（昭和39年3月31日）

現状におきましては、衆議院議員の選挙区別の人口と議員の定数との間には、各選挙区間において相当の不均衡が見られ、その上下の差は三倍以上となっているのであります。政府といたしましては、不均衡の特に著しい選挙区について、是正することいたしました。すなわち、当分の間、十九名増員しようとするものであります。

(国立国会図書館国会議録検索システムより)

問5 Kさんは、5月に国民の祝日が多いことから、5月の国民の祝日とその他の記念日などについて調べて表を作成した。次のKさんが作成した表について、との各問い合わせに答えなさい。

Kさんが作成した表

日	国民の祝日とその他の記念日など	内容
3日	憲法記念日	①日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する国民の祝日。
4日	みどりの日	自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ国民の祝日。
5日	② <u>こどもの日</u>	こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する国民の祝日。
25日	③ <u>アフリカデー</u>	アフリカ統一機構の発足にちなんで定められた国際デー。
29日	国連平和維持要員の国際デー	④ <u>国連平和維持活動</u> にかかわったすべての人の献身と勇気をたたえ、命を失った人びとを追慕する国際デー。
30日	⑤ <u>消費者の日</u>	消費者基本法の前身である消費者保護基本法の施行10周年を機に、当時の通商産業省が定めた日。

(ア) ——線①に関して、次の各問い合わせに答えなさい。

(i) 日本国憲法が保障している国民の権利のうち、生命・身体の自由の内容として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. 法廷において不利益な供述を強要されないこと
2. 自分の好きな職業に就くこと
3. 能力に応じて教育を受けること
4. 自分が正しいと思うところを言うこと

(ii) 日本国憲法において、天皇が行うことができることを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. 最高裁判所長官を任命すること
2. 内閣総理大臣を指名すること
3. 地方公共団体の首長を選出すること
4. 国政調査権を行使すること

(iii) 日本国憲法第27条2項では、「賃金、就業時間、休息その他の勤労条件に関する基準は、法律でこれを定める。」としている。これを定めている法律の名称を、漢字5字で書きなさい。

(イ) ——線②に関して、Kさんがまとめた次の [ ] 中の文の A にあてはまるものを、との1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

この日は、日本の伝統的な年中行事の一つである A にあたり、柏餅や粽を食べたり、菖蒲湯に入ったりする風習が各地にあります。

1. 七五三
2. 端午の節句
3. 節分・豆まき
4. 七夕

(ウ) ——線③に関して、アフリカの中には干ばつや不作、栄養不良で苦しむ人びとがいることを知ったKさんは、次の□中の文のような活動をしている国際連合に関連する機関のホームページを見つけた。Kさんが見つけたこの機関の略称として最も適するものを、あの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

アフリカ干ばつ緊急募金 今、100万人以上の子どもたちが命の危機に…

干ばつによる食料不足で、今、アフリカ中西部の子どもの栄養状態は危機的状況にあります。既に100万人以上の子どもたちが、重度の栄養不良や劣悪な環境の中で命の危機にさらされています。今すぐ、あなたのご支援が必要です。

1. I L O

2. W T O

3. U N I C E F

4. U N E S C O

(エ) ——線④に関して、次の表、年表から読み取れることとして最も適するものを、あの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。なお、表の派遣回数は派遣開始年を1回と数えている。

表 國際連合が平和維持活動を行った地域別派遣回数

	アジア州	アフリカ州	北アメリカ州	ヨーロッパ州	合計
1948年～1968年	7	2	1	0	10
1969年～1989年	4	3	1	0	8
1990年～2010年	8	23	7	8	46
合計	19	28	9	8	64

(国際連合のホームページにより作成)

- 東西ドイツが統一された年以降、国際連合が平和維持活動を行った地域別派遣回数の合計は、それまでの派遣回数の合計よりも減少した。
- 国際連合が発足して以降、国際連合の平和維持活動の半数以上はアフリカ州で行われている。
- 日本の自衛隊が国際連合の平和維持活動に参加し始めたのは、日本が国際連合に加盟するのと同時期である。
- 核拡散防止条約が結ばれた翌年から米ソ首脳がマルタ島で会談した年までの期間は、国際連合が平和維持活動を行った地域別派遣回数の合計が最も少ない。

年表

1945年	国際連合が発足する。
1948年	国際連合がはじめて平和維持活動を行う。
1954年	日本で自衛隊が発足する。
1956年	日本が国際連合に加盟する。
1968年	核拡散防止条約が結ばれる。
1989年	米ソ首脳がマルタ島で会談する。
1990年	東西ドイツが統一される。
1991年	ソビエト社会主义共和国連邦（ソ連）が解体する。
1992年	日本で国連平和維持活動(PKO)協力法(国際平和協力法)が制定される。

(オ) ——線⑤に関して、Kさんがまとめた次の□中の文の□B□～□D□にあてはまるものの組み合わせとして正しいものを、あの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

2004年に改正施行された消費者基本法では、消費者の□B□を明確にするとともに、国、地方公共団体と事業者の□C□を定めています。

また2009年には、消費者行政を一元化するための官庁として□D□が設置されました。

- |          |       |         |          |       |          |
|----------|-------|---------|----------|-------|----------|
| 1. B: 責務 | C: 権利 | D: 消費者庁 | 2. B: 権利 | C: 責務 | D: 家庭裁判所 |
| 3. B: 権利 | C: 責務 | D: 消費者庁 | 4. B: 責務 | C: 権利 | D: 家庭裁判所 |

問6 次の   中の会話文と表について、あとの各問い合わせに答えなさい。

生徒：日本の経済に関して、先生の印象に残って  
いることにはどのようなものがありますか。

先生：1980年代のバブル景気（経済）をよく覚え  
ています。それでは、表Iをもとに、そのこ  
ろの日本の経済と一緒に考えてみましょう。

まず為替相場（為替レート）を見てみると、

1985年から1986年にかけてドルに対して急激

に A になっています。次に輸出額を見てみると、これが輸出に B に働いたこ  
とがわかります。実際のところ、景気は減速して、「A 不況」とよばれる状況にな  
りました。

生徒：その対応として、①日本銀行が金融政策を行い、資金を借りやすくしたんですね。

先生：それにより景気は回復したのですが、株式や土地の市場に大量の資金が流れ込み、土地  
や株式の価格が大幅に C することになりました。これがバブル景気（経済）です。

表I 為替相場（為替レート）と輸出額

年	為替相場 (為替レート) (対1米ドル)	輸出額
1985年	238.54円	419,557億円
1986年	168.52円	352,897億円

（『日本国勢団会 2012/13年版』

『数字で見る 日本の100年』により作成）

(ア) A ~ C にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、次の1~6の中から  
一つ選び、その番号を書きなさい。

1. A: 円安 B: 不利 C: 下落

2. A: 円安 B: 有利 C: 下落

3. A: 円安 B: 有利 C: 上昇

4. A: 円高 B: 不利 C: 下落

5. A: 円高 B: 有利 C: 下落

6. A: 円高 B: 不利 C: 上昇

(イ) ——線①に関して、日本銀行の役割にあてはまるものを、次の1~4の中から一つ選び、その番号  
を書きなさい。

1. 国の予算案を作成し国会に提出すること

2. 爭いごとを調停したり和解させたりすること

3. 政府の資金を出し入れすること

4. 個人から預かった資金を企業に貸し出すこと

生徒：1990年代以降の日本の  
経済はどのような状況だっ  
たのですか。

先生：1990年代の日本の経済  
は低迷し、2000年代の日  
本の経済は、②デフレー  
ションとよばれる現象に苦しんでいます。またこの間、表IIが示すように、③雇用をめ  
ぐる大きな変化が生じています。

表II 就業状態別人口

年	労働力人口	完全失業者数	雇用者数	雇用者のうち 非正規の職員数
1990年	6,384万人	134万人	4,690万人	881万人
2000年	6,766万人	320万人	5,267万人	1,273万人
2010年	6,590万人	334万人	5,479万人	1,756万人

（『日本国勢団会 2012/13年版』『数字で見る 日本の100年』により作成）

(ウ) ——線②に関して、デフレーションとよばれる現象を、15字以内で説明しなさい。なお、物価と  
いう語句を必ず用い、文末は こと。 で終わること。これらも全体の字数に入れること。

(エ) ——線③に関して、表Ⅱから読み取れることとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. 2000年と2010年を比較すると、労働力人口と雇用者数は、両方とも増加している。
2. 2010年には、労働力人口に占める完全失業者の割合は10%を超えてい。
3. 1990年と2010年を比較すると、非正規の職員数は2倍以上になっている。
4. 2000年には、雇用者数に占める雇用者のうちの非正規の職員の割合は20%を超えてい。

生徒：昨年、消費税の税率を引き上げることが決まりましたと報道されていました。

先生：そうですね。消費税は身近な税ですが、どのような特徴をもっている税か、所得税と比較して説明してください。

生徒：はい。所得税は直接税であり、表Ⅲが示すように、D一方、消費税は間接税であり、所得金額に関係なく税率が同じというしくみになっています。

先生：よく理解していますね。ところで、国の財政にはどういう課題があると学習しましたか。

生徒：歳入において公債金による収入の割合が高いことと、歳出において④社会保障関係の支出の割合が高いことです。

表Ⅲ 所得税の税率の区分

課税される所得金額	税率
195万円以下	5%
195万円を超え 330万円以下	10%
330万円を超え 695万円以下	20%
695万円を超え 900万円以下	23%
900万円を超え 1,800万円以下	33%
1,800万円超	40%

(国税庁のホームページにより作成)

(オ) Dにあてはまる文を、30字内で書き、生徒の発言を完成させなさい。なお、所得金額という語句を必ず用い、文末はしくみになっています。で終わること。これらも全体の字数に入れること。

(カ) ——線④に関して、日本国憲法が定めている「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1. 請願権
2. 生存権
3. 財産権
4. 請求権（国務請求権）

先生：税の使い道については、国民の間でもさまざまな意見があります。こういうさまざまな意見がある場合には、どういう議論をすることが大切だと思いますか。

生徒：社会科で学習したように、多様な考え方や利害の違いがあることが、「E」の状態だと思いますので、これを「F」にもっていくよう、手続きや機会、結果について「G」であるかどうかを考慮して、議論することが大切だと思います。

(キ) E～Gにあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. E: 対立 F: 合意 G: 公正 | 2. E: 合意 F: 対立 G: 公正 |
| 3. E: 対立 F: 合意 G: 公共 | 4. E: 合意 F: 対立 G: 公共 |

(問題は、これで終わりです。)

V 社会 正答表並びに採点基準 (平成25年度)

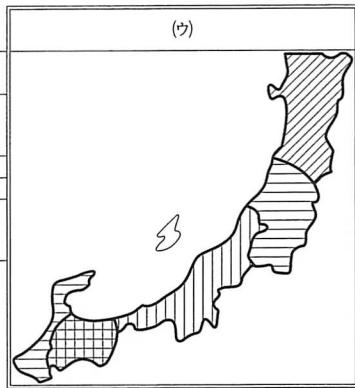
問1

(ア)				(イ)	(ウ)								(エ)					
A	B	C	D	4	2月14日 午後8時								2					
					(オ)													
A	S	E	A	N	の	先	發	加	盟	国	と	後	發	加	盟	国	と	の
間	に	は	経	済	格	差	が	あ	り	、	日	本	は	地	域	の	総	合
的	な	開	発	を	支	援	す	る	と	い	う	觀	点	か	ら	、	後	發
加	盟	国	に	対	し	政	府	開	發	援	助	を	よ	り	多	く	行	つ
て	い	る	。															

80 (オ)は正答例。

70

(ウ)



問2

(ア)		(イ)		(ウ)		(エ)		(オ)		(ミ)		(エ)	
2		3											
(エ)		(オ)		(ミ)		(エ)		(オ)		(ミ)		(エ)	
4		2		1	4	2	3	1	4				

(オ)の(ii)は順不同可。

問3

(ア)		(イ)		(ウ)		(エ)		(オ)		(カ)		(キ)	
4	2	3	2										
(ウ)		(エ)		(オ)		(カ)		(キ)					
風土記		3		4		3		1					

問4

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)			
4	3	5	1	2	(カ)			
(カ)								
第1次産業に従事する人が減るなか、地方								
圏から三大都市圏に人が移動したことによ								
り生じた、選挙区間の選挙区別の人口と議								
員の定数との不均衡を是正するため。								

80 (カ)は正答例。

70

(カ)は8点  
他は各2点  
計18点

問5

(ア)		(イ)		(ウ)		(エ)		(オ)		(ミ)		(エ)	
(i)		(ii)		(iii)									
1		1		労働基準法									
(イ)		(ウ)		(エ)		(オ)							
2		3		4		3							

各2点  
計14点

問6

(ア)		(イ)		(ウ)				(エ)		(カ)		(キ)	
6	3	物	価	が	継	続	的	に	下	4			
		落	す	る	こ	と	。						
所	得	金	額	が	多	く	な	る	と	2	1		
、	税	率	が	高	く	な	る	し	く				
み	に	な	っ	て	い	ま	す						

30 (ウ), (オ)は正答例。

(ウ), (オ)は各4点  
他は各2点  
計18点

計 100点

## 採点上の注意

### 問1

(ア)については、順番に四つともすべてできて正答とする。

(オ)について

① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、次の(a)～(c)についてすべて書いてある文ならば正答とする。

(a) 表Ⅰをもとに、ASEAN（東南アジア諸国連合）の先発加盟国と後発加盟国との間に経済格差があること。

(b) 資料をもとに、ASEAN（東南アジア諸国連合）加盟国に対する日本の政府開発援助（ODA）は、地域の総合的な開発という観点を重視して支援するということ。

(c) 表Ⅱをもとに、日本政府が後発加盟国に対してより多く支援していること。

② 中間点について

・与えられた条件のうち、全体の字数と文末の表現の条件を満たしているが、①の(a)～(c)のいずれか一つが不十分なものは、4点減点とする。

・誤字、脱字は、その数にかかわらず、2点減点とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。

③ 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

〈正答例〉

・先発加盟国と後発加盟国との間では一人あたりの国内総生産に差があり、日本は地域の連結制の向上をめざして、開発途上の後発加盟国にODAを重点的に行っている。(76字)

70

・東南アジア諸国連合の内には、経済発展の格差があり、日本政府は地域の総合的発展をめざし、ODAの贈与の6割近くを後発加盟国にあてて援助を行っている。(73字)

70

### 問2

(ウ)について

① 中間点は設けない。問題の趣旨に即しているならば正答とする。

② 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

(オ)の(ii)については、二つともできて正答とする。順不同可。

(オ)の(iii)については、順番に四つともすべてできて正答とする。

### 問3

(ア)については、順番に三つともすべてできて正答とする。

(ウ)の漢字の表記について

① 中間点は設けない。誤字、脱字は誤答とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。

② 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

### 問4

(カ)について

① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、次の(a)～(c)についてすべて書いてある文ならば正答とする。

(a) 表Ⅰをもとに、第1次産業に従事する人が減ったこと（第2次産業と第3次産業に従事する人が増えたこと）。

(b) 表Ⅱをもとに、地方圏から三大都市圏に人が移動したこと（三大都市圏の人口が増えたこと）。

(c) 資料をもとに、選挙区間で生じた選挙区別の人口と議員の定数との不均衡を是正することになったこと。

② 中間点について

・与えられた条件のうち、全体の字数と文末の表現の条件を満たしているが、①の(a)～(c)のいずれか一つが不十分なものは、4点減点とする。

・誤字、脱字は、その数にかかわらず、2点減点とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。

③ 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

〈正答例〉

・産業構造が変化するとともに、地方圏から三大都市圏に人口が集中し、三大都市圏では以前よりも議員の定数に比べて、有権者数が増加していることを是正するため。(75字)

70

・農林水産業よりも鉱工業と商業などに従事する人の割合が増え、東京、大阪などに人口が集中することになった結果、都市と地方との間で生じている一票の格差を是正するため。(80字)

70

### 問5

(ア)の(iii)の漢字の表記について

① 中間点は設けない。誤字、脱字は誤答とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。

② 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

### 問6

(ウ)について

① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば正答とする。

② 中間点は誤字、脱字についてのみ設ける。誤字、脱字はその数にかかわらず、2点減点とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。

③ 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

〈正答例〉

・物価がだらだらと下がること。(14字)

・物価が下がること。(9字)

(オ)について

① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば正答とする。

② 中間点は誤字、脱字についてのみ設ける。誤字、脱字はその数にかかわらず、2点減点とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。

③ 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

〈正答例〉

・所得金額に応じた累進課税というしくみになっています。(26字)

・所得金額が少なくなると、税率が低くなるしくみになっています。(30字)

・所得金額の区分が異なると、税率が異なるしくみになっています。(30字)